



カケハシ・プロジェクト（カナダ）
大学生派遣の記録
KAKEHASHI Project (Canada)
Visiting Canada Program for University Students Report

1. プログラム概要

【目的・概要】

本プログラムは、日本全国から選抜された大学生を、3月5日～3月12日まで、日本とカナダの相互理解を促進することを目的として、カナダ・オンタリオ州へ派遣しました。カナダ滞在中はカナダの学生や、学校関係者、政府関係者、過去のカケハシ・プロジェクト招へい参加者との交流を通じて、現地生活や習慣に触れるとともに、交流先で出会う人々に向けて日本の魅力を伝えました。

【参加者】 日本の大学生 合計4名

【訪問地】 カナダ・オンタリオ州トロント

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

2月19日（木曜日） **【来日前（渡航前）オリエンテーション】** 事業目的・ミッション、日程説明、渡航上の注意、感染症対策等

■ 派遣プログラム：

3月5日（木曜日） 羽田空港より出国、トロント・ピアソン国際空港より入国

【来日時オリエンテーション】

3月6日（金曜日） **【表敬訪問】** パーシ・カンダベル トロント市議会議員

【視察】 トロント市庁舎

【視察】 DMZ（トロント州立大学）

【表敬訪問】 在トロント日本国総領事館

【視察】 ロイヤル・オンタリオ博物館

【視察】 チャイナタウン

3月7日（土曜日） **【視察】** オールド・トロント

【視察】 セント・ローレンス・マーケット

【視察】 オンタリオ美術館

【視察】 イートン・センター

【視察】 ネイサン・フィリップス・スクエア

3月8日（日曜日） **【視察】** ナイアガラの滝

【視察】 ナイアガラ・オン・ザ・レイク

- 【文化体験】シュガー・シャック
 【交流】カケハシ同窓生との交流会
 3月9日（月曜日） 【視察】オンタリオ州議会議事堂
 【視察】トロント先住民センター
 【学校交流】トロント大学
 【視察】グラフィティアリー
 【視察】ケンジントンマーケット
 3月10日（火曜日） 【表敬訪問】国際交流基金 トロント日本文化センター
 【視察】カナダ日系文化会館
 【視察】アガ・カーン美術館
 【文化体験】カーリング体験
 【ワークショップ】報告会準備（訪日成果のとりまとめ、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）
 3月11日（水曜日） トロント・ピアソン国際空港より出国
 3月12日（木曜日） 羽田空港到着
 3月13日（金曜日） 【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表

2. 記録写真

派遣プログラム

	
2026年3月6日【表敬訪問】 パーシ・カンダベル トロント市議会議員	2026年3月6日【視察】 DMZ（トロント州立大学）
	
2026年3月6日【表敬訪問】 在トロント日本国総領事館	2026年3月8日【視察】ナイアガラの滝

	
2026 年 3 月 8 日【交流】 カケハシ同窓生との交流会	2026 年 3 月 9 日【学校交流】 トロント大学
	
2026 年 3 月 9 日【学校交流】 トロント大学	2026 年 3 月 10 日【表敬訪問】 国際交流基金 トロント日本文化センター
	
2026 年 3 月 10 日【文化体験】カーリング体験	2026 年 3 月 13 日【報告会】集合写真

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 大学生

まだ日本語学習を始めて一年に満たない学生が流暢な日本語を話していることに驚きました。日本語と英語両方を交えた交流によって、日本語学習者のカナダの参加者と英語学習者の私たち双方が相手の文化を深く知ることができたと感じました。特に、書道ブースでは、筆や硯を実際に持参したことで、参加者の皆さまに本格的な書道に触れていただくことができました。

◆ 大学生

在トロント日本国総領事館を訪れ、お話を聞いたり、質問をしたりする中で、カナダと日本の交流が歴史の中で続いてきたことがわかり、桜を贈るなど文化的なやり取りがなされている点も大変印象に残りました。

◆ 大学生

初日のパーシ・カンダベル トロント市議会議員との面会で、政策の事について聞いた事が興味深かったです。また総領事館の方々との交流に関しても、普段関わることができない人たちとカナダについて議論することが楽しかったです。

4. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

	
2026 年 3 月 5 日（Instagram） 大学生 はじめまして！カケハシ・プロジェクトのメンバーとしてカナダへの派遣に参加予定です。 大学で土木工学を学ぶ中で、多様な文化や意見が共存するカナダにおいて、科学技術を実社会の中でどのように導入し、役立てていくのかという点に興味を抱き、本プログラムへの応募を決めました。 今回の派遣を通じて、関心のある科学技術の分野はもちろん、カナダの政策や歴史、文化についての知見を得て、それらを発信し、両国の相互理解につなげていきます。 よろしくお願いします！！	2026 年 4 月 1 日（Instagram） 在トロント日本国総領事館では、トロントと日本の関係、また総領事館が力を入れて取り組んでいる事業についてお話を伺いました。 オンタリオ州とは 14 の姉妹都市があること、5,200 本の桜の寄贈があることなどから、日本とのつながりが強い地域であることを学びました。 また、資源政策とカナダの歴史的背景の関係性について質疑応答の機会をいただきました。ありがとうございました。

 parthikandavel • フォローする parthikandavel 1週間前 A pleasure meeting with the Kakehashi Project delegation this morning at our Constituency office in Scarborough followed by a tour of City Hall. The Japanese word "kakehashi" means bridge, symbolizing the bridge between both nations and cultures. Thank you to the @ggjapanto and @asiapacificfoundation of Canada for the opportunity to connect with the next generation. #KakehashiProject #Kakehashi #CanadaJapan 翻訳を見る 36 3月7日	 canadakakehashi • フォロー canadakakehashi Definite highlight of Day 5-- #Kakehashi lunch mixer at the Department of East Asian Studies. The in-Canada cohort delivered presentations and workshops on calligraphy, food, and origami, while everyone enjoyed delicious Japanese street food. Great to see alumni Ben, Miranda and Terence continuing to be Kakehashi (bridges) between our 2 cultures. Thanks so much to all who welcomed us so warmly and especially to Komuro-Lee sensei for her support. #KakehashiCanada #Kakehashi2025 #KakehashiProject #uoftjapanassociation @tsky @asiapacificfoundation @Kakehashi2025 @eas_uoft @benfaust @furusatointernational 編集済み · 21時間前 翻訳を見る いいね！ 15件 22時間前 コメントを追加... 投稿する
2026 年 3 月 7 日（パーシ・カンダベル トロント市議会議員の Instagram） 今朝、スカボロー区の選挙区事務所にてカケハシ・プロジェクト代表団の皆さまとお会いし、その後、市庁舎をご案内しました。 「カケハシ」は日本語で「橋」を意味し、両国と文化をつなぐ架け橋を象徴しています。 次世代との交流の機会をくださった在トロント日本国総領事館及びカナダ・アジア太平洋財団に感謝いたします。	2026 年 3 月 10 日（APF カナダの Instagram） 五日目のハイライトの一つは、トロント大学の東アジア研究学科で行われたカケハシ・ランチ交流会でした。カナダ側の参加学生は、書道、食文化、折り紙に関するプレゼンテーションやワークショップを行い、参加者全員が日本のストリートフードを楽しみました。 また、カケハシ・プロジェクト同窓生 3 名が、引き続き私たち 2 つの文化の「架け橋(カケハシ)」として活躍している姿を見ることができ、とても嬉しく思いました。

5. 報告会での渡航成果とアクション・プラン発表（抜粋）

全 1 グループ発表

カケハシ・プロジェクト カナダ大学生派遣 成果報告会

2026.3.13

02 カケハシ経験を今後の学業・キャリアにどう生かすか - 富原

【学業】

現職法研究会

- ・英語の保護
- ・エスルギー政策
- 先住民の権利尊重と資源開発

異文化理解/文化交流の興味

- ・異なる言語、宗教、バックグラウンドを尊重
- ・文化継承のための企業、行政の支援の充実

【キャリア】

・コミュニティの継続・活用

▲CHRYSLER Student Team

▲インターンシップ

・海外で働く選択

・出身高校の部活、サークルでの紹介
高専生、大学生に向けてカケハシプロジェクトの紹介と、現地で得た学びや経験を発信し、積極的な参加や挑戦、異文化理解を促進する。

03 帰国後3か月以内に実施するアクションプラン

～Instagramでの発信～

投稿するアカウント
@kakehashi_canada_2026

- When** 3月中旬～6月中旬にかけて、
- Where** Instagramを通じて、日本そして世界に、
- Who** 4人の担当制で、
- What** 投稿する。
- Why** 多くの人の関心と経験の共有を両立させる目的で、
- How** 訪問先ごとに写真や経験、気づきなどを投稿する。

【成果の発表】

◆ 多文化社会について

カナダでは、単一の文化的アイデンティティが前面に出るのではなく、多様な文化的背景や民族が共存しながら社会を形成していると感じました。そのため、人々の帰属意識は「民族」よりも地域コミュニティに根ざしている点が特徴的であると学びました。

◆ 先住民問題への高い社会的意識

先住民に関する歴史や現状についての理解が社会全体で広く共有されており、教育、イベント、公共の議論など、さまざまな場面で重要なテーマとして取り上げられていました。日本と比較しても、より社会的に、センシティブかつ重要な課題として認識されていると感じました。

◆ コミュニケーション文化の違い

現地の人々は総じてオープンでフレンドリーであり、日本のように礼儀や適度な距離感を重視するコミュニケーションスタイルとは異なる印象を受けました。

【展望】

- ・ プログラムを通じて、社会全体における先住民族への高い意識を学んだことから、これまで資源関連の専攻としてエネルギー政策の観点から勉強を進めていましたが、今後は先住民族の社会・文化・権利にも着目して理解を深めていきたいです。将来的には、先住民族の権利を尊重した資源開発に携わることもキャリアの選択肢として検討したいと思います。
- ・ 学業面では、環境法研究会への参加を通じて、カナダで得た景観保護、先住民族の権利尊重、資源開発とエネルギー政策に関する知見をさらに深めたいと考えています。また、多文化社会で学んだ異なる言語・宗教・文化背景への理解の重要性を今後の学びに生かすとともに、日本において文化継承のために企業や行政がどのような取り組みを行っているのかについても調査していきたいです。キャリア面では、今回のプログラムで得たネットワークとの交流を継続し、海外で働く可能性も選択肢として視野に入れていきます。
- ・ 先住民族の権利や環境保護、地域ごとの景観保全など、技術導入に伴う法的・経済的側面について、今回のプログラムを契機により深く学びたいと思いました。また、多様な交通機関が共存するカナダの交通事情についても引き続き調査し、これらの知見を自身の学業の発展に生かしていきたいと思います。
- ・ 法制度の違いが社会意識や社会構造に与える影響を探る観点から、アジアと北米を比較軸とした法制度の国際比較をさらに深めていきたいです。また、トロント大学での交流を通じて国際的な学習環境の豊かさを実感したことから、自身の大学でも留学生との交流を積極的に進め、国際理解を深める機会を広げていきたいと考えています。

【アクション・プラン】

◆ 高校や大学での発信

出身高校や地方の高校生、現在所属している大学サークルやコミュニティにおいてカケハシ・プロジェクトを紹介し、今回の渡航で得た学びや経験を共有します。高校生・大学生に対し、本プロジェクトの意義や魅力を伝えることで、積極的な参加や挑戦、そして異文化理解の促進につなげていきたいです。また、属性に関係なく、海外で活動したり外交について学んだりする機会が誰にでも開かれていることを広く伝えていきます。

◆ SNS での発信

帰国後 3 か月間を目安に、SNS を通じて継続的に情報発信を行います。担当制を設け、訪問先ごとの写真、経験、気付きなどを定期的に投稿し、多くの人にプログラム内容や訪問地域の魅力を広く共有することで、社会全体の理解促進と関心喚起につなげていきます。

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）、カナダ・アジア太平洋財団（APF カナダ）